

月瀬だより

ファイナル



平成29年10月17日 第11号

文責：月瀬小学校長 大林千代喜

後期が始まって

後期が始まって1週間が過ぎました。先週まであんなに暑かった天气が、一転、雨が続いて急に冷え込んでしまいました。子どもたちも、半袖から長袖に、セーターや標準服を着てくる人も増えました。寒暖の差が激しく、風邪気味の人もあります。健康に気を付けて、後期もがんばってほしいものです。

後期の目標も、前期と同じにしました。

- 感謝の気持ちを持って過ごす
自分がこうして元気に楽しく生活できるのは、自分の周りの人のおかげであることを忘れないでほしいと思います。
- 笑顔であいさつ
みんなの笑顔や元気なあいさつは、周りの人を幸せにします。
- 仲間を増やす
いよいよ玉陵校区の学校との交流が始まります。仲間を増やすチャンスです。
- 堂々と発表する
これから玉陵校区のみんなと授業が始まります。たくさんの方の前でも堂々と発表したいものです。



玉陵小開校に向けて

いよいよ月瀬小学校閉校まで、6ヶ月をきりました。閉校実行委員会も記念碑の建立、記念式典の実施、記念誌の発行等、これからますます忙しくなると思います。保護者の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご協力の程、よろしくお願いたします。

学校では、玉陵小学校の開校に向けての準備を進めています。9月4日(月)、29日(金)に、玉名小学校に全ての教職員が集まって、話し合いを行いました。12月15日(金)に子どもたちが集まって、合同学習を行います。子どもたちが困らないように、それぞれの学校で共通して取り組むことを決め実践しています。

子どもたちの言葉の中にも、先生方の指導にも、統合を意識した発言が見られるようになりました。安心して統合できるように、最後までがんばります。



ピン、ベタ、ジーできているかな

最近の出来事から



嶋村先生による目の指導



一足先にうるち米の収穫



がんばった市民体育祭



6年生による読み聞かせ

人権子ども集会に参加して

10月14日(土)に、熊本市のパークドーム熊本で行われました。玉陵中学校区小中学校の代表がまともに行きました。本校からは、5、6年生が出席しました。残念ながら真稟さんは発熱のため欠席でした。

子どもたちは、8000人の中に緊張している人もいれば、全く緊張感のない人もいました。

11時になり、いよいよ始まりました。例年、高校生による進行で、小学校・中学校・高校から1校ずつ発表することになっています。

初めは、合志小学校の6年生45人が発表しました。水俣病やハンセン病の学習と語り部の方の話を聞いて、予断や偏見、知らないことで起こる差別の現実から、相手の思いや考えをよく知ること、自らも相手に思いや考えを伝えることの大切さを訴えてくれました。

次に、嘉島中学校の生徒会16名の発表です。熊本地震の被災者に元気を届ける「復興プロジェクト」を紹介してくれました。

最後は、誠修高校2年の田端さんが発表しました。これまで、小学校、中学校、高校でひどいじめに遭い、リストカットまでした田端さんが、学習会での仲間の優しい言葉で救われたことを堂々と発表してくれました。

交流活動では、「世界で1つだけの花」を手話を交えながら、みんなで歌いました。

最後に、アピール文を発表して終わりました。

小学生のみんなには、難しい内容もありましたが、多くの方の温かい気持ちや一生懸命発表する人の様子に共感できたらよいと思います。

馬淵先生に最後まで引率していただきました。ありがとうございました。



人権子ども集会に行ったこと

6年 高根璃久

今日、人権子ども集会に行って人権や差別のことを勉強しました。6校の小学校と中学校でバスに乗って行きました。着くとすごい人数の人が集まってました。詠さんとも会いました。

人権や差別についての発表がありました。いろいろな発表がありました。少しのいじりからいじめにつながることをしっかり学びました。いじめにあって自分を傷つけてしまうのが、とてもかわいそうだなと思いました。

ぼくは、心から差別をしてはいけないなあと思いました。

人権子ども集会のこと

6年 杉本 颯真

今日、人権子ども集会に行きました。会場に着くとものすごい人がいたのでびっくりしました。

体験・活動報告が始まりました。ぼくは、田端さんの「いじめは見えない殺人」です。という言葉が心に残りました。なので、差別やいじめなどなくしていきたいです。

